2025 年 6 月 (初版)

管理者用
説明文書

手関節背屈筋サポーター

アリストテニス

セッティング方法：動画

男性用仕様　女性用仕様

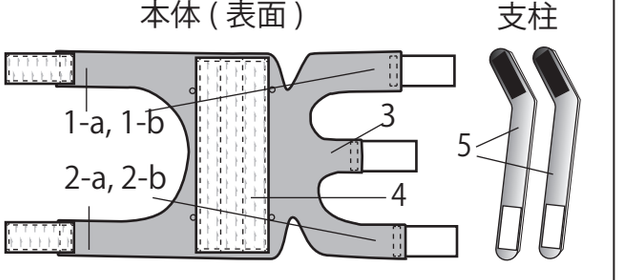
1. 用途

- 上腕骨外側上顆炎の保存的治療・手術後における手関節背屈筋の安静保持
- 橈骨神経麻痺や手根管症候群等の保存的治療における手関節背屈位の保持等

2. 構成

本品は以下の構成からなる (図 1)

No.	各部の名称	
1	手部バンド　(a) 二又 (b) 三又	本体
2	前腕部バンド (a) 二又 (b) 三又	
3	手関節部バンド	
4	支柱収納ポケット	
5	支柱 (2 本 + キャップ 4 個)	



※上記に加え、支柱挿入補助用のアイス棒 1 本が付属している

（図 1）本製品の構成

3. 原理

本製品は手関節運動における背屈筋の負担を掌屈筋に代替させることで背屈筋の安静を担保する

- 内在する支柱により、安静時には装着者の手関節を背屈位に保つ。
- 装着者が手関節を掌屈すると、支柱と手部バンドの弾性変形を生じる。生じた弾性エネルギーが続く背屈運動を支援する。

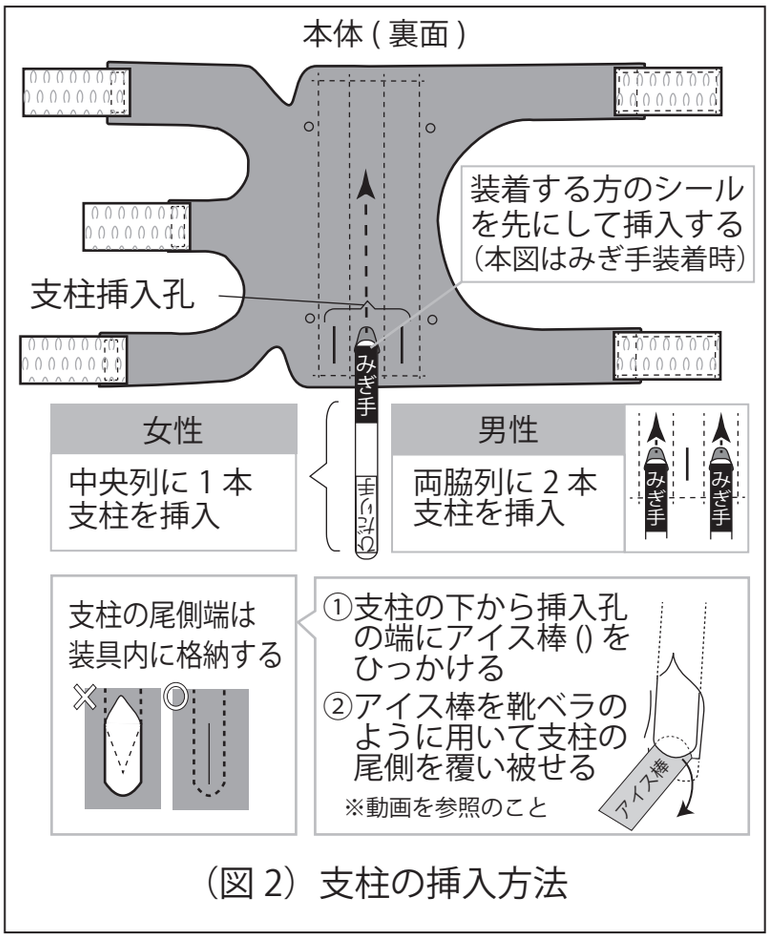
4. セッティング方法

* 重要

装着者の性別・手の左右によって支柱の本数と向きを調節する

4-1.　支柱の挿入

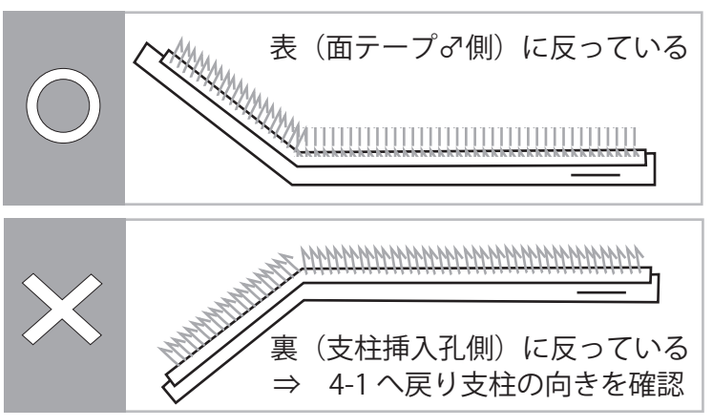
① 本体の裏面および支柱のシール面を上（自分から見える）向きにする
② 支柱の向き・本数を確認し挿入する (図 2)



（図 2）支柱の挿入方法

4-2.　確認

本体が表側に反っていることを確認する



2025 年 6 月 (初版)

使用者用
説明文書

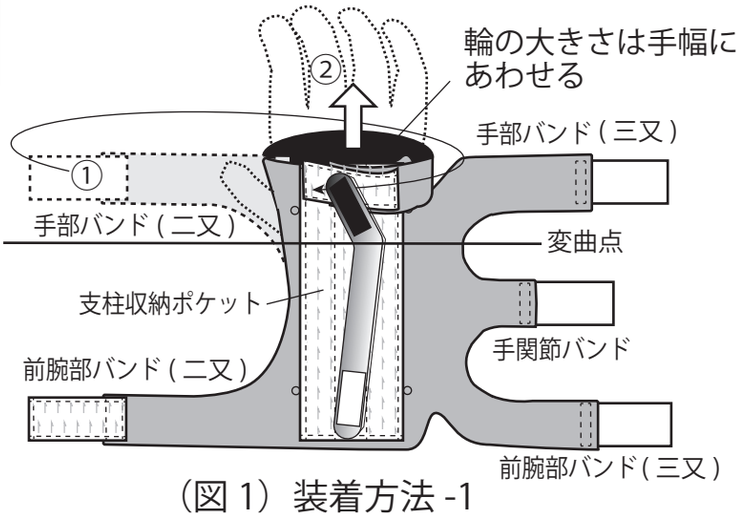
手関節背屈筋サポーター

アリストテニス

取り付け方法：動画

1. 装着方法

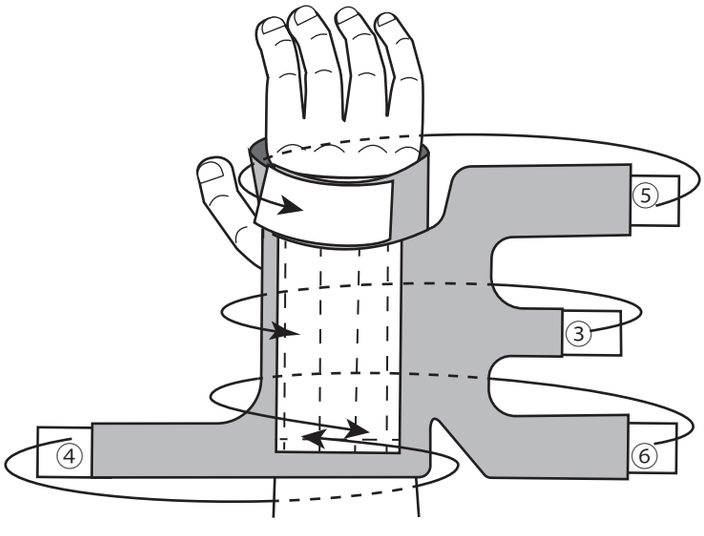
① 手部バンド (二又)* を支柱収納ポケットの端に貼り付けて輪状にする（図 1）
* 二又のバンドのうち変曲点から近い方
② 輪になった手部バンドに手を挿入する



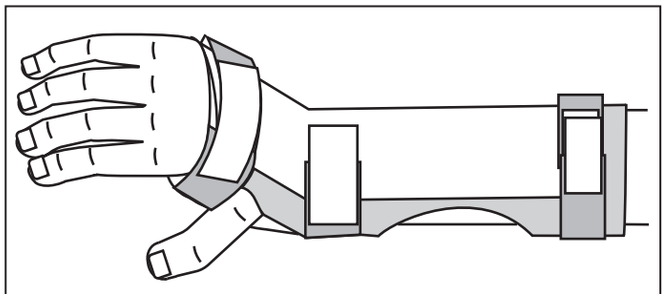
（図 1）装着方法 -1

各バンドを下記の場所に貼り付ける (図 2)

バンドの名称	貼り付け先
③ 手関節部バンド	支柱収納ポケット
④ 前腕部バンド (二又)	支柱収納ポケット
⑤ 手部バンド (三又)	手部バンド（二又）
⑥ 前腕部バンド (三又)	前腕部バンド (二又)



（図 2）装着方法 -2



(図 3) 装着時の様子

2. 製品の特徴

- 本製品は安静時の手首を甲側に反った姿勢を保つ
- 着用状態で手首を掌側に動かすと、本製品は甲側への反発力を生じる
  この反発力は甲側に曲げる筋肉を補助し同筋の負担を軽減する

3. 使用上の注意

- 本製品は手を甲側に曲げる筋肉の負担を掌側に曲げる筋肉に代替させる
  同筋の痛み (前腕掌側や肘内側部）を感じた場合は使用を中止し、医師に相談すること
- 皮膚の変色や掻痒感がある場合は使用を中止し、医師に相談すること(支柱に金属を使用しているため、金属アレルギーがある者は使用を控えること)

4. 保管方法

- 直射日光を避けて常温で保管すること
- 本製品は手洗いができる（最大水温40℃）
- 洗浄時は漂白剤、ドライクリーニング、又は乾燥機を使用しないこと
- 洗浄前に内部の支柱を取り外すこと

5. 製造および販売元

紫峰メディカル株式会社
茨城県つくば市吾妻二丁目 5 番地 1
https://shiho-m.co.jp/

SHIHŌ MEDICAL